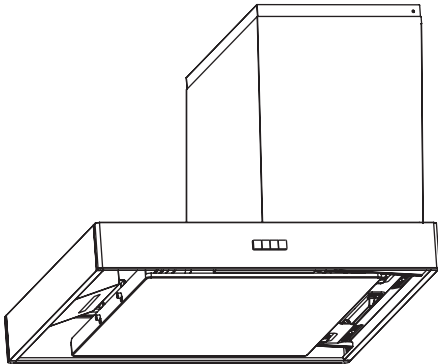


取扱説明書 サイドフード シロッコファンタイプ

品番

S81AH2MR 750幅(右壁設置用)

S81AH2ML 750幅(左壁設置用)



家庭用

保証書付

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のお願い	3
各部の名前	4
使いかた	5
お手入れのしかた	6～15
故障かな？	16
保証とアフターサービス	17
仕様	18
保証書	19

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2ページ)を必ずお読みください。
- 保証書(19ページ)は、「お引き渡し日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	
	分解禁止 絶対に分解したり、修理・改造しない 火災・感電・けがの原因になります。 ●修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の「修理ご相談窓口」へご相談ください。
	水ぬれ禁止 モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない ショートや感電のおそれがあります。
	ぬれ手禁止 分電盤のブレーカーをぬれ手で切／入しない 感電のおそれがあります。
	禁止 ガス漏れのときはサイドフードのスイッチを入れたり切ったりしない スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。
	禁止 コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない 定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
	必ず守る a.c.100Vで使用する 火災・感電の原因となります。
	お手入れの際は分電盤のブレーカーを切る 感電のおそれがあります。
	電気工事、管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう 火災、感電のおそれがあります。

 注意	
	接触禁止 運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない けがをするおそれがあります。
	禁止 フード本体の上には物を置かない 落下により、けがをするおそれがあります。
	フード本体にぶら下がったり、もたれたりしない 落下して、けがをするおそれがあります。
	照明を直接見ない 目がくらんだり、傷めたりするおそれがあります。
	電源プラグを抜く 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。
	必ず守る 使用を終了した製品は放置せず、撤去する 万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。
	設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する けがをするおそれがあります。
	本体はしっかり取り付けられているか、確認する 落下により、けがをするおそれがあります。
	部品は確実に取り付ける 落下したり、けがをするおそれがあります。
	お手入れの際は、次のことを守る ・厚手のゴム手袋を使用する ・部品が十分冷めてからおこなう やけどやけがをするおそれがあります。

使用上のお願い

使用中は

■調理の際は、必ずサイドフードを運転してください。

運転しないとサイドフード内が高温になり、故障の原因となります。

■サイドフード運転時は、十分な給気を確保してください。

給気が不足すると、不完全燃焼・吸い込みが悪くなる・異臭がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

■油に火がついたときは運転を停止してください。

サイドフードが動作していると火の勢いがさらに強くなります。

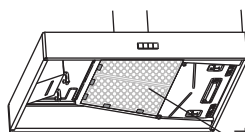
■調理部周辺に風があたらないようにしてください。

エアコンなどの風を受けると、吸い込みが悪くなります。

特に、IH調理機器は調理による上昇気流が少ないため、油煙がフードから漏れやすくなります。

■フィルターやフード本体に市販のフィルターを重ねて使用しないでください。

吸い込みが悪くなり、異音が発生する場合があります。



市販のフィルターを重ねて使用しない

■炎のあがる調理はしないでください。

サイドフード内の異常高温による故障の原因となります。

■テレビやラジオなどは、フード本体から1m以上離してお使いください。

放送電波に雑音が混入し、聞こえにくくなったり、耳ざわりに感じる場合があります。

IH調理機器を使うときは

■冬期など気温の低い時期は、結露（水滴）が生じることがあります。

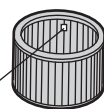
フード本体：結露（水滴）が滴下する前にふき取ってください。

整流板、オイルキャッチ：こまめに水を捨ててください。

お手入れのときは

■羽根を外した状態でスイッチを入れないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。



Balancer

羽根

■Balancerは外さないでください。

異音や故障の原因となります。

※Balancerが外れた場合は、必ずお買い上げの販売店、工事店またはアフターサービス（☎ 17ページ）に記載の修理ご相談窓口にて修理を依頼してください。

各部の名前

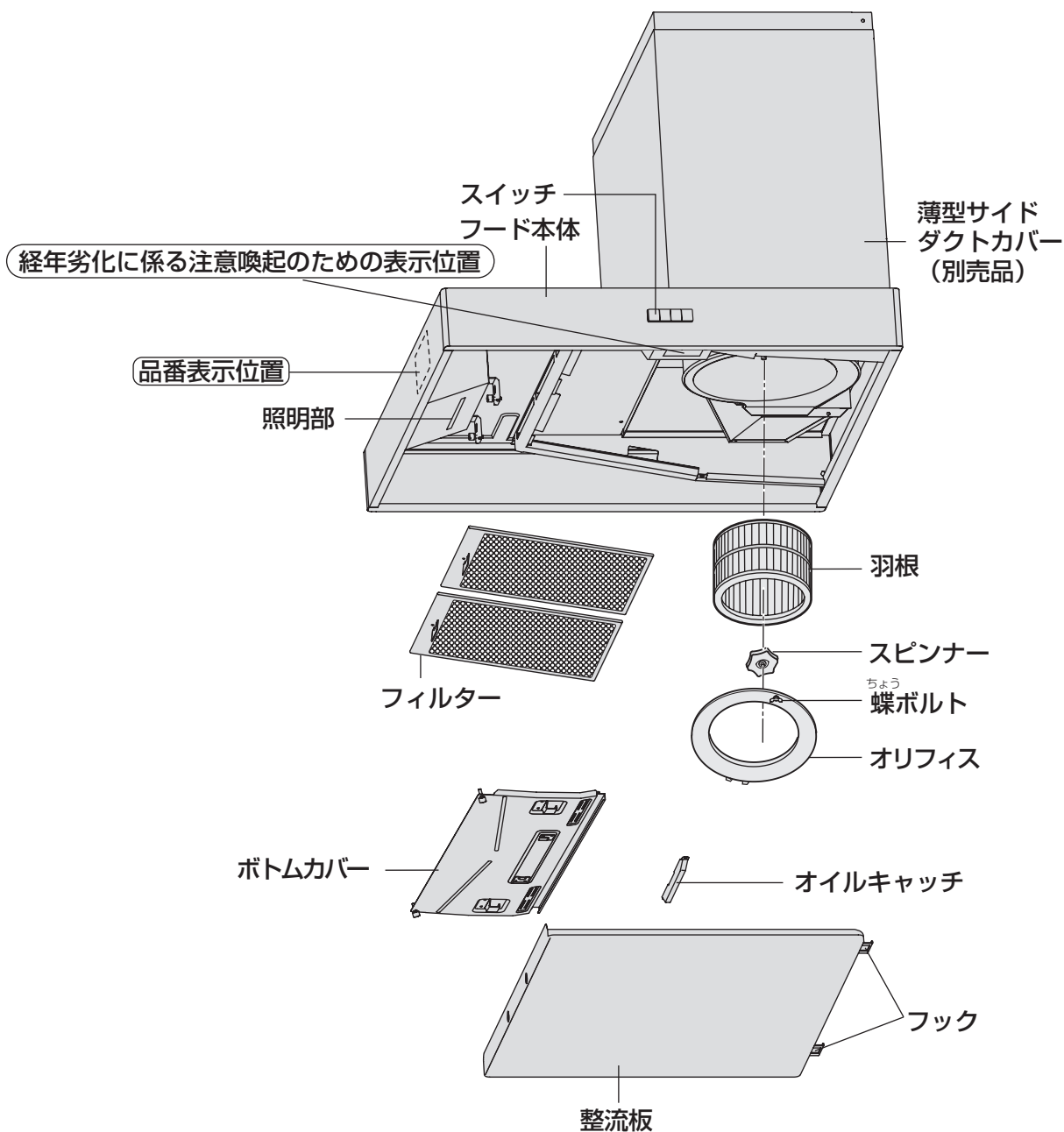
品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

お願い

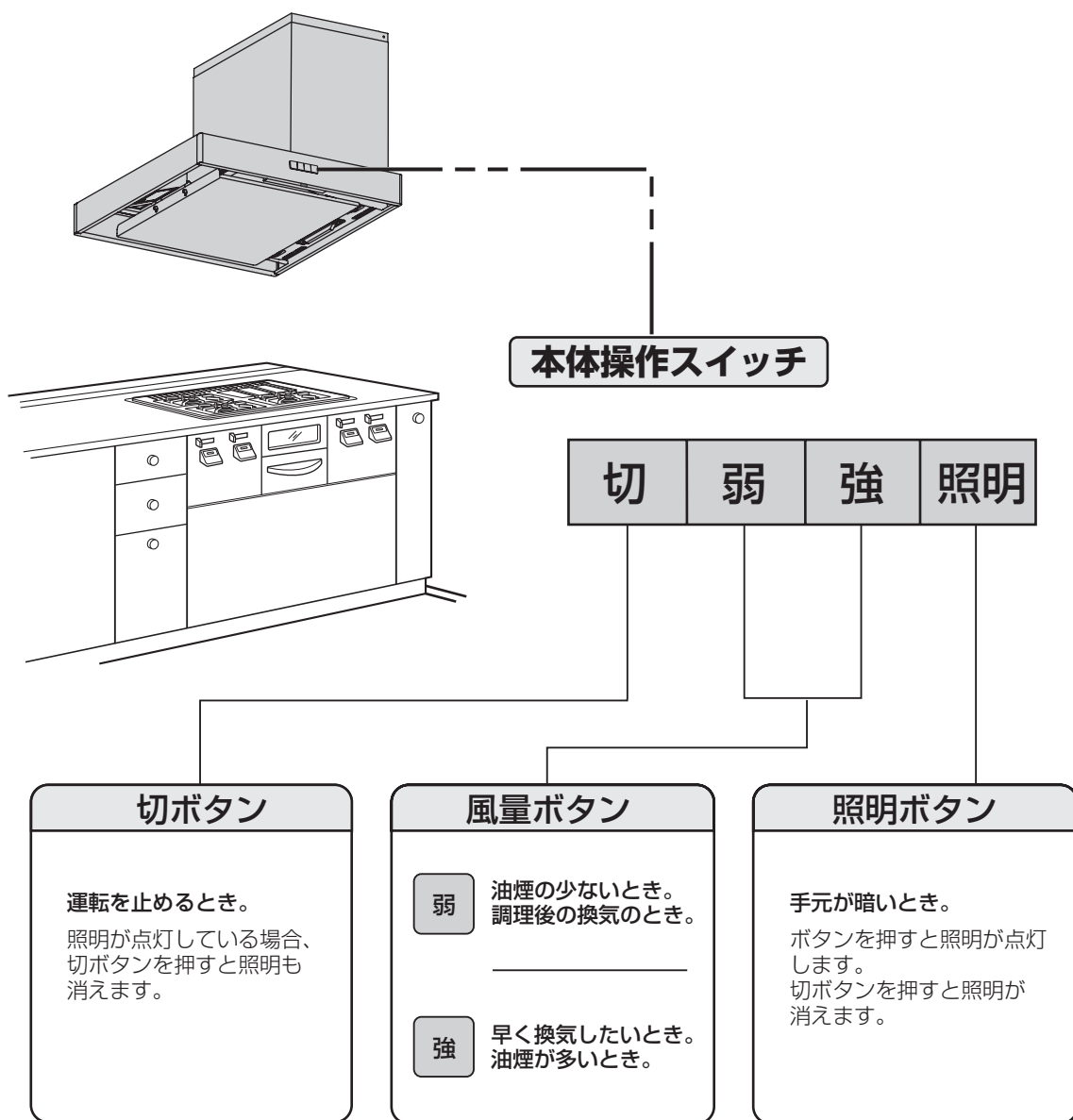
品番をご確認ください。

(修理依頼などのアフターサービスをご利用の際に、品番が必要になります)

※イラストはS81AH2MRを示します。



使いかた



お手入れのしかた

(フィルター、オイルキャッチは
交換部品としてお求めになれます)

 警告	
 水ぬれ禁止	モーターやスイッチなどの電気部品に 水や洗剤をかけたりしない ショートや感電のおそれがあります。
 必ず守る	お手入れの際は分電盤のブレーカーを 切る 感電のおそれがあります。

 注意	
 接触禁止	運転中や停止後しばらくの間は、羽根の 中に指や物を入れない けがをするおそれがあります。
 必ず守る	お手入れの際は、次のことを守る ・厚手のゴム手袋を使用する ・部品が十分冷めてからおこなう やけどやけがをするおそれがあります。

お願い

- 製品の変色、変質、変形防止のため、右記の洗剤などは使わないでください。
- 部品の変色、変質、変形防止のため、高温（浴用より高い）の湯の漬け置き洗いや食器洗い乾燥機の使用などはしないでください。
- 高圧清掃水、高温スチームは使用しないでください。

- ・汚れを長期間放置すると、油の滴下や汚れが落ちなくなったり、部品が外れなくなったりすることがあります。早めにお手入れをしてください。
- ・お手入れ時は調理をやめ、鍋などはサイドフードの下に置かないでください。
- ・高い所での作業は、足元に十分注意してください。

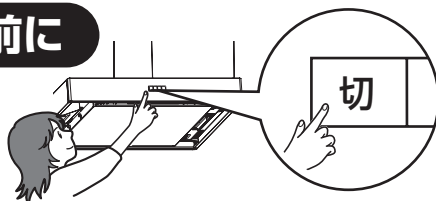


塗装の変質・変色・はがれ防止のため、下記のようなものなどは使用しないでください。



お手入れの前に

①スイッチを切る



②厚手のゴム手袋をする

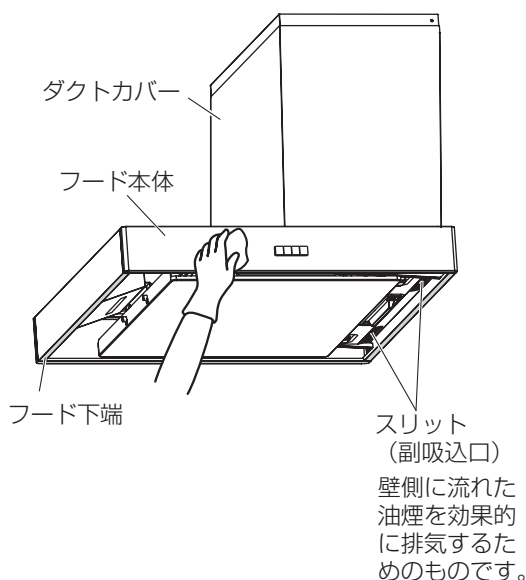


フード本体外側（内側）のお手入れ



お願い

・水や洗剤などを直接吹きかけないでください。故障や誤動作の原因になります。



①ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取る。

②水ぶきする。

- ・ご使用頻度や環境、調理の種類により汚れ度合いは異なり、付着した水分や油分が滴下するおそれがありますので、滴下前にふき取ってください。
- ・フード下端（油がたまる場合があります）やスリット（壁側に2か所に油が付着している場合は、滴下前にふき取ってご使用ください）。

お願い

- ・汚れが目立つ場合は、日常的にお手入れをしてください。
フード本体に付着した油が滴下したり、汚れが取れにくくなったり、部品が外れなくなる場合があります。

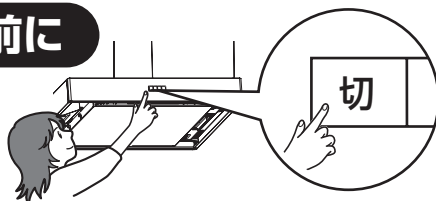
「1か月に1回程度のお手入れ」→次ページ

お手入れのしかた（続き）

お手入れ
1か月に
1回程度

お手入れの前に

- ①スイッチを切る

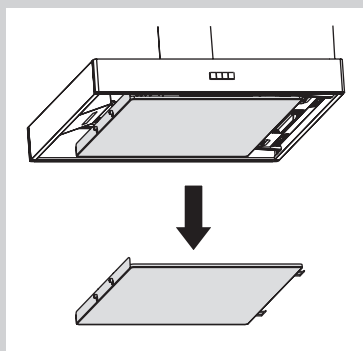


- ②厚手のゴム手袋をする



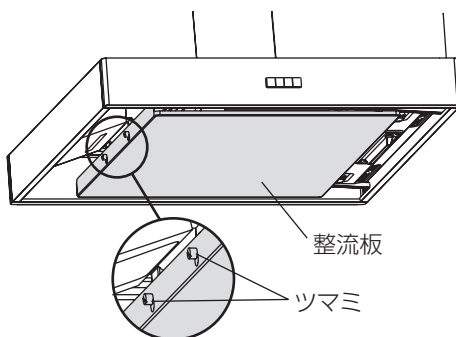
1 整流板のお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す



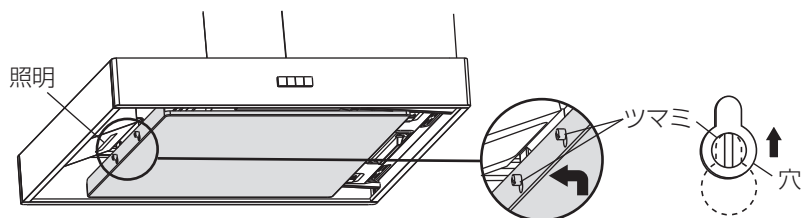
※油や結露水が流れ出ることがあります。
整流板を下まで下げる前に、内側を確認し、たまった油や結露水はキッチンペーパーなどでふき取ってください。

- ①整流板を固定しているツマミをゆるめる。

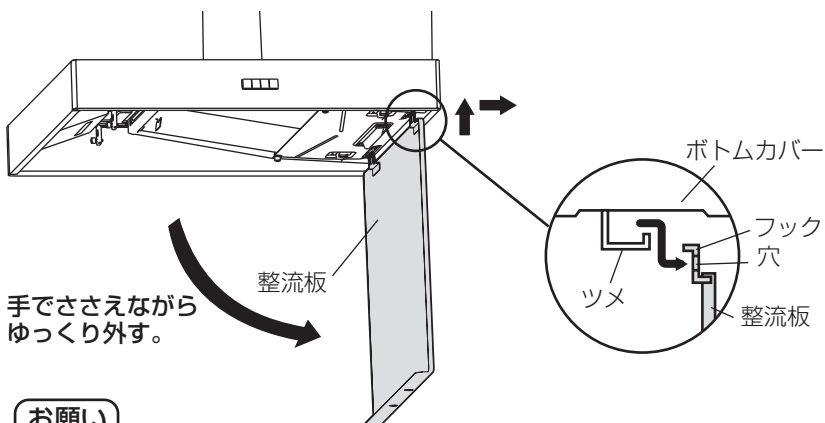


※ツマミは整流板が上に上がる程度に軽くゆるめる。ゆるめすぎると整流板が外しくくなります。（1～3mm程度ゆるめる）

- ②整流板を両手で少し上に持ち上げ、照明側に引き、整流板の穴をツマミから外す。



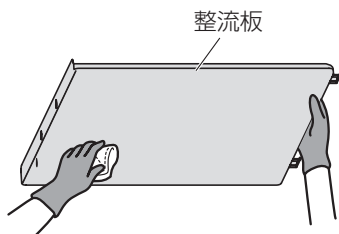
- ③整流板を下までさげ、整流板をうかせて壁側に押しながら整流板のフックの穴をボトムカバーのツメから取り外す。



お願い

整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
手を離すと、キッチンの一部などに干渉落下したり、変形・破損のおそれがあります。

汚れを取る



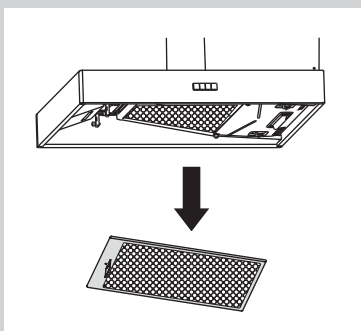
- ① 水分を含ませたスポンジ・ふきんなどで汚れをふき取る。
- ② がんこな汚れの場合は、台所用中性洗剤に浸したスポンジで汚れをふき取る。
洗剤が残らないように水ぶきする。

お願い

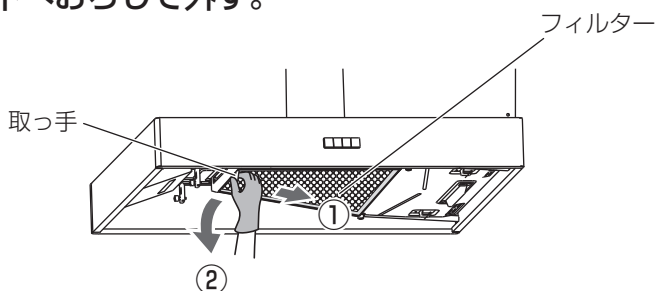
・ 外した整流板は平らな場所でお手入れをしてください。
変形・傷の原因となります。

2 フィルターのお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す

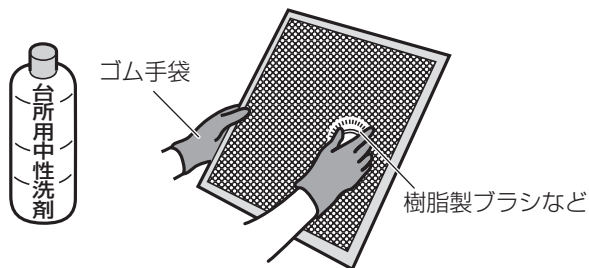


- ① フィルターの取っ手を持ち、壁側に押す。
- ② 下へおろして外す。



汚れを取る

- ① 台所用中性洗剤と樹脂製ブラシなどで汚れを落とす。
- ② 洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。



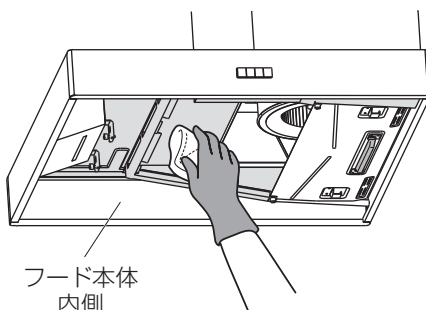
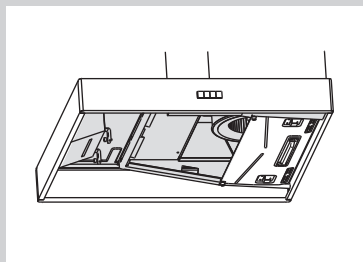
お願い

・ 金属製たわしなどは使わないでください。
・ 食器洗い乾燥機では洗わないでください。
アルカリ性洗剤を使用しているため、塗装の変質、変色、はがれが生じることがあります。

お手入れのしかた（続き）

3 フード本体内側のお手入れ（汚れを取る）

汚れを取る

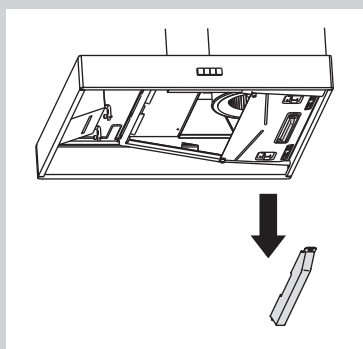


台所用中性洗剤に浸したスポンジで汚れをふき取る。洗剤が残らないように水ぶきする。

フード本体
内側

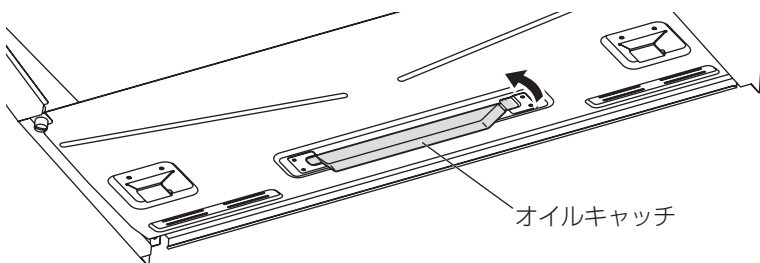
4 オイルキャッチのお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す



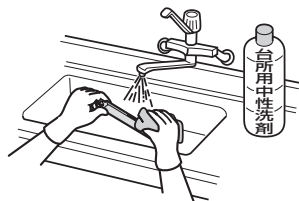
※油だれに注意してください。

①オイルキャッチを手前に引いて外す。



オイルキャッチ

汚れを取る

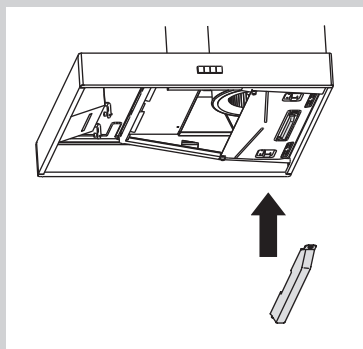


- ①油や結露水がたまっている場合は、キッチンペーパーなどでふき取ってから、台所用中性洗剤で洗う。
- ②洗剤が残らないようによく洗い流し水分をよくふき取り、乾燥させる。

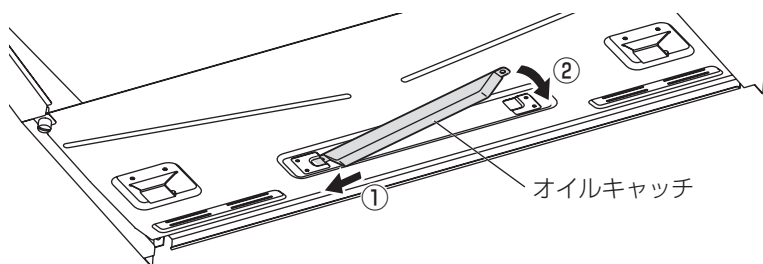
- ・ 使用状況により、油や結露水のたまる量は異なります。
- ・ 冬期など結露の生じやすい時期は、たまった水をこまめに捨ててください。
- ・ 油の使用量、コンロの違いなどの使用環境により油や結露水がたまらない場合がありますが、異常ではありません。
- ・ 汚れたまま放置したり、ご使用などで部品が傷んできたら、お早めに交換してください。
（オイルキャッチは消耗部品としてお求めになれます）

5 オイルキャッチを取り付ける

取り付ける



- ① オイルキャッチのツメをボトムカバーの溝に差し込む。
- ② もう1方のツメをフード本体の反対側の溝に差し込む。



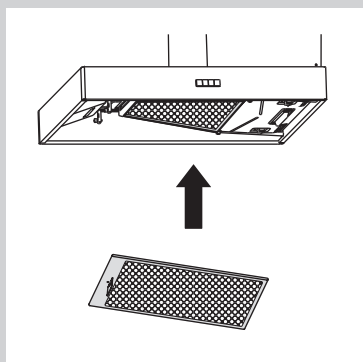
※「オイルキャッチ」の刻印を手前に向けて取り付けてください。

お願い

オイルキャッチがきちんと固定されているか確認してください。
固定されていないと落下するおそれがあります。

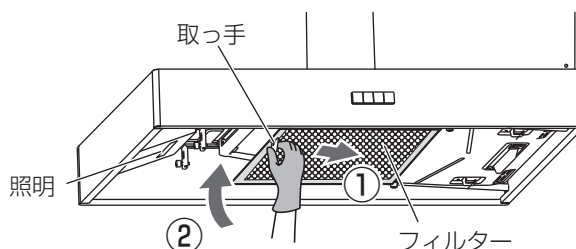
6 フィルターを取り付ける

取り付ける



- ① フィルターの取っ手を持ち、壁側に押す。
- ② 押し上げて取り付ける。

※取っ手が照明側になるように取り付けてください。



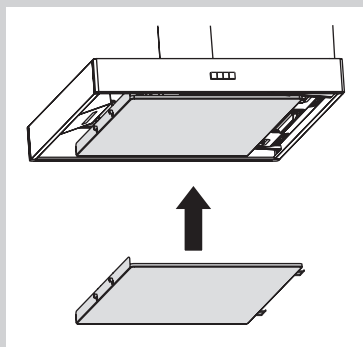
お願い

フィルターがきちんと固定されているか確認してください。
固定されていないと落下するおそれがあります。

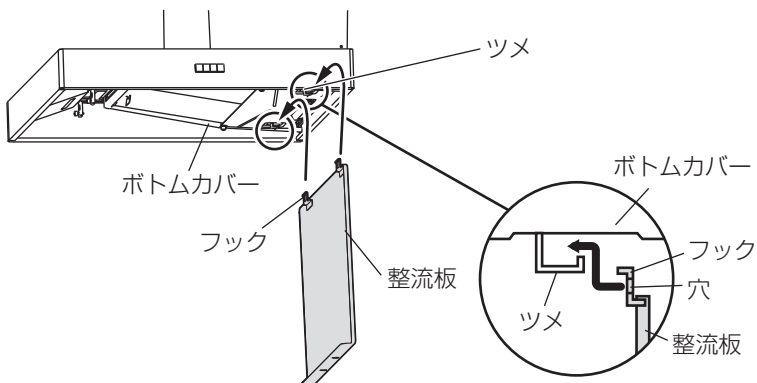
お手入れのしかた（続き）

7 整流板を取り付ける

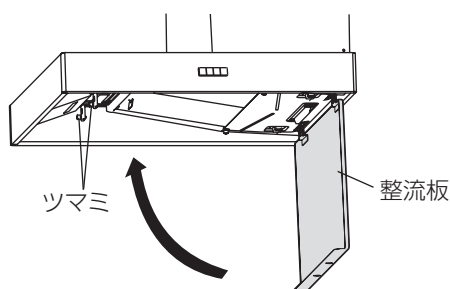
取り付ける



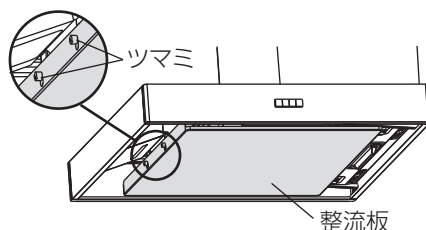
①整流板を両手で持ち、フックの穴をボトムカバーのツメに壁側から掛ける。



②整流板を両手でおこして、フード本体のツマミに掛ける。



③ツマミを締め込む。

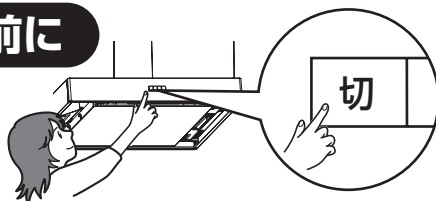


お願い

- ・整流板がきちんと固定されているか確認してください。
整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
固定されていないと落下するおそれがあります。
- ・フード本体に整流板を完全に取り付けるまでは手を離さないでください。
手を離すと、キッチンの一部などに干渉し落下したり、変形・破損のおそれがあります。

お手入れの前に

- ①スイッチを切る



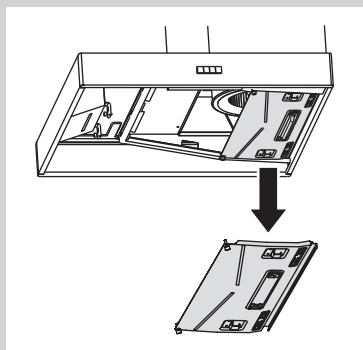
- ②厚手のゴム手袋をする



- ① 整流板・フィルター・オイルキャッチのお手入れをする
(①～④ 8～10ページ)

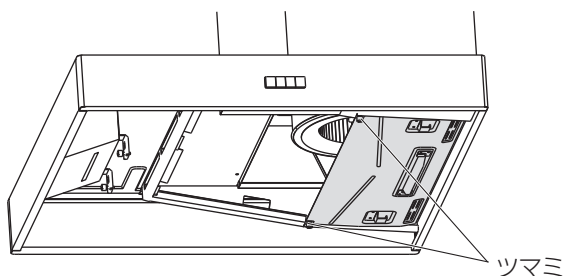
- ② ボトムカバーのお手入れ (外しかた／汚れを取る)

取り外す



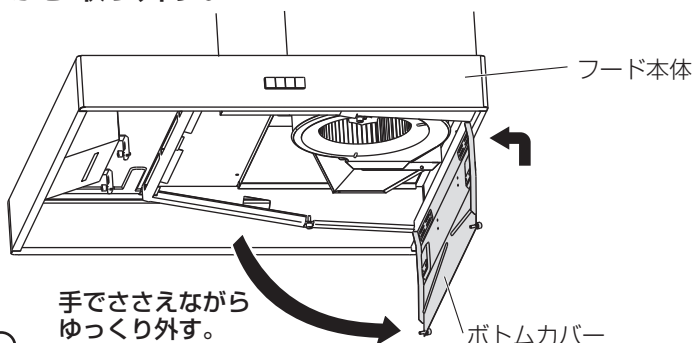
※油や結露水が流れ出ることがあります。
ボトムカバーを下げる前に、
内側を確認し、たまった油や
結露水はキッチンペーパー
などでふき取ってください。

- ①ツマミをゆるめる。



- ②両手でボトムカバーを持ち、ゆっくり下げる。

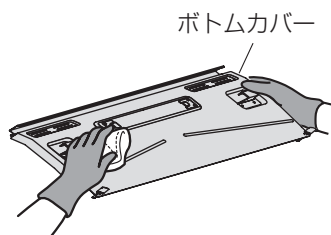
- ③ボトムカバーを少し持ち上げ、フックをフード本体のツメから取り外す。



お願い

ボトムカバーの開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
手を離すと、キッチンの一部などに干渉落下したり、変形・破損のおそれがあります。

汚れを取る

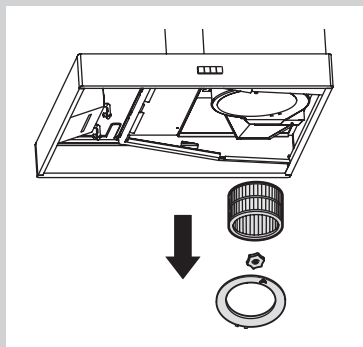


- ①水分を含ませたスポンジ・ふきんなどで汚れをふき取る。
②がっさな汚れの場合は、台所用中性洗剤に浸したスポンジで汚れをふき取る。
洗剤が残らないように水ぶきする。

お手入れのしかた（続き）

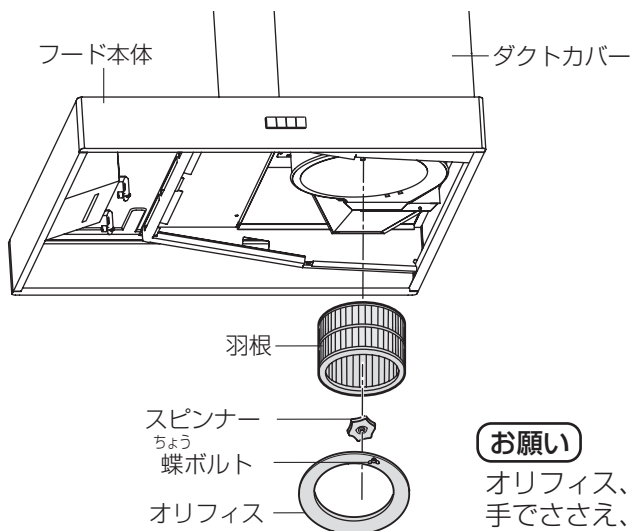
③ 羽根・オリフィスのお手入れ（外しかた／汚れを取る）

取り外す



※油や結露水が流れ落ちないようにオリフィスを水平に保って外してください。

- ① 蝶ボルトをゆるめ、オリフィスを外す。
- ② 手で羽根を保持し、スピナーを右回り（時計回り）に回して外し、羽根を下に引き抜く。



お願い

オリフィス、羽根は手でささえ、落下しないようゆっくり外してください。

汚れを取る



- ① ぬるま湯を入れた容器に羽根、オリフィスを浸し、樹脂製ブラシなどで汚れを洗い落とす。

・しつこい汚れには、台所用中性洗剤を使用してください。金属たわしなどの硬いものは、表面を傷付けることがありますので、使用しないでください。

- ② 洗剤が残らないようによく洗い流し、水分をよくふき取り、乾燥させる。

・羽根はシャフトに挿入する部分の水分を十分に取り、潤滑剤などをさしてから取り付けてください。シャフトの錆止めになり、羽根の取り外し性を維持します。

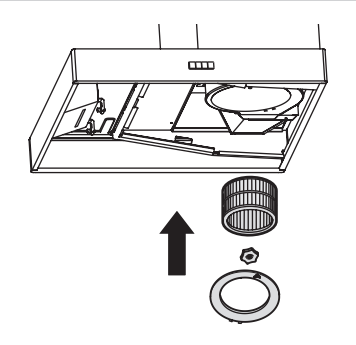
お願い

羽根の回転バランスをとるためにバランス（重り）が付いている場合があります。絶対に外したり、動かしたりしないでください。異常や故障の原因となります。



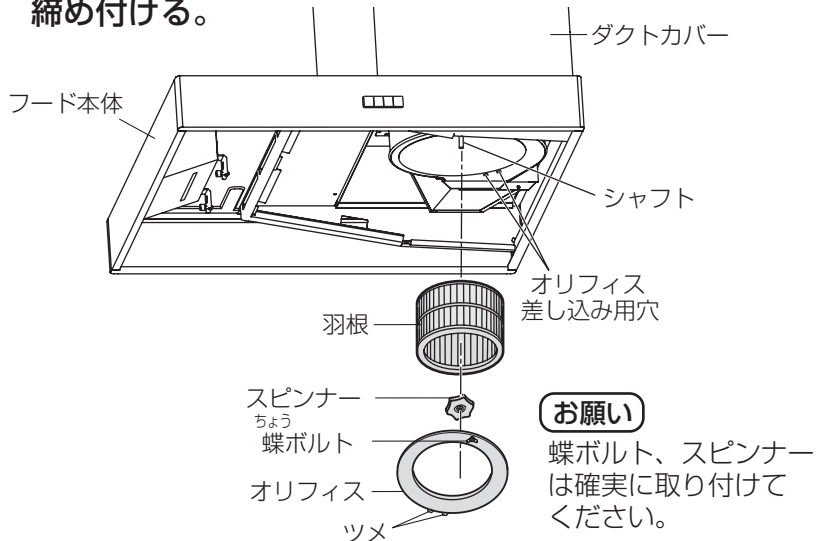
4 羽根・オリフィスを取りつける

取り付ける



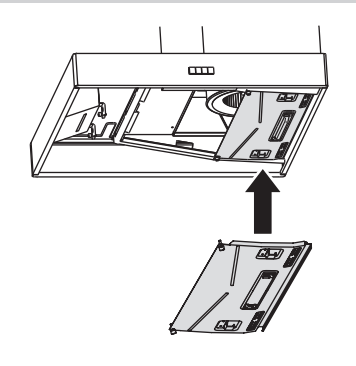
※羽根は変形させないように十分気を付けてください。

- ①羽根をモーターのシャフトに挿入し、
- ②羽根を保持したまま、スピナーを左回り(反時計回り)に回して締め付ける。
- ③オリフィスのツメを差し込み用穴にはめ、蝶ボルトを締め付ける。

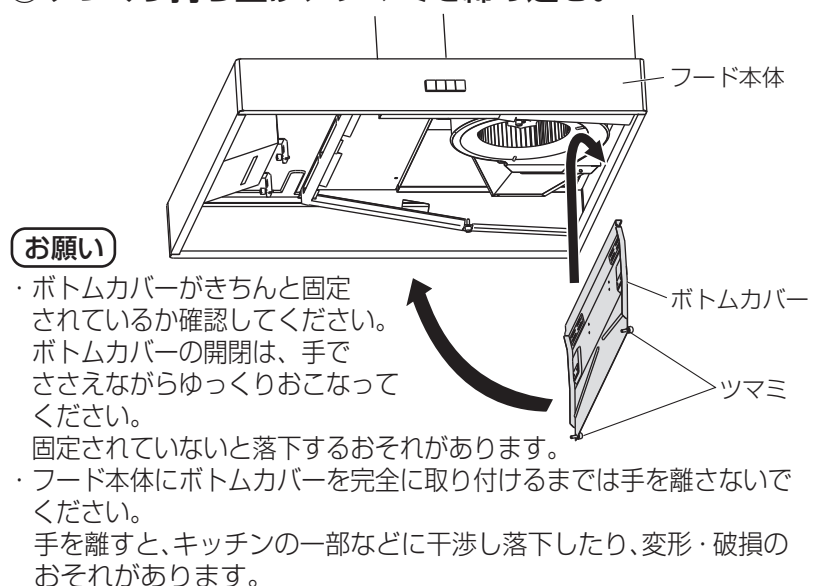


5 ボトムカバーを取りつける

取り付ける



- ①ボトムカバーを両手で持ち、フード本体に掛ける。
- ②ゆっくり持ち上げ、ツマミを締め込む。



6 フィルター・オイルキャッチ・整流板を取り付ける (5～7 11～12ページ)

故障かな！？ 修理を依頼される前に次の点をもう一度ご確認ください。

お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。



症 状	原 因	対 応（参照ページ）
運転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか。	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
吸い込みが悪い	屋外フードが目づまりしていませんか。	屋外フードを清掃してください。
	フィルターが汚れていませんか。	清掃してください。（8～12ページ）
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
	エアコンなどの風が当たっていませんか。	風があたらないようにしてください。
異常音がする	スピナーがゆるんでいませんか。	スピナー、ツマミを締め直してください。（13～15ページ）
	オリフィス固定のツマミがゆるんでいませんか。	
	フィルターが汚れていませんか。	清掃してください。（8～12ページ）
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。

処置したあとに、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店・工事店または裏表紙に記載のご相談窓口にお問い合わせください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな! ?」(16 ページ) でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	サイドフード
●品 番	
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談内容に応じた窓口にご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

部品のご注文、ご相談は、「ハイ・パーツショップ」へお問い合わせください。

消耗部品	品番	必要個数
フィルター	SEH1630090	2
オイルキャッチ	SEH0250013	1

※フィルターはアルミ製、オイルキャッチは鋼板製です。
廃棄方法は、各市町村の処理方法に従ってください。

仕様

品 番	質量 (kg)	電 源	風量調節	消費電力 (W)	換気風量 (m³/h)		騒音 (dB)
					0Pa時	100Pa時	
S81AH2MR S81AH2ML	16	a.c.100V 50/60Hz	強	82.5/94	527/508	434/423	45.5/45
			弱	46/49	320/305	—	34/33

- 上記仕様は静圧 0 Pa (パスカル) 時の値です。
静圧 0 Pa (パスカル) とは、サイドフードにおよぼす圧力が「0 (ゼロ)」の状態を示します。
- このサイドフードは、ご使用にならないときでも約0.5Wの電力を消費しています。
- サイドフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。
- 消費電力・換気風量・騒音の測定は JIS C 9603 によります。
- 騒音値は当社無響音室で測定した値ですので、実際に設置した状態では反響などの影響を受け、表示数値より高くなります。

サイドフード保証書

※お客様	お名前	様	※お引渡し日	年	月	日
	ご住所		シリーズ・品番	S81AH2MR/S81AH2ML		
	電話番号					
※販売店	取扱販売店名・住所・電話番号		保証期間（お引渡し日から）	1年間		
				(ただし消耗部品は除く)		

ご販売店様へ上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

本書はお引渡し日から本書に明示した期間内に故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の記載に基づいた使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になる場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
 - (ハ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) 消耗部品（電球、フィルター、電池）の取替えや修理
 - (ハ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
 - (ホ) 車両、船舶等に搭載された場合による故障及び損傷
 - (ヘ) 仕上げのキズ等で、お引渡し時に指摘がなかったもの
 - (ト) 瑕疵によらない自然の磨耗、さび、変質、変色、その他類似の事由による場合
 - (チ) 維持管理の不備による汚れ、さび、変質、変色、その他類似の事由による場合
 - (リ) 取付設置説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する損傷や故障
 - (ヌ) 契約時、実用化されていた技術ではあり得ない現象またはこれが原因で生じた事故による場合
 - (ル) 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
 - (ヲ) 一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ワ) 本書のご提示がない場合
 - (カ) 保証書にお引き渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
- (ヨ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 無料修理により取り外された部品・製品は、弊社の所有になります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お客様ご相談窓口は裏表紙をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社 水廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

TEL(06)6909-7676(代表)

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

TEL(0568)81-1511(代表)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本産業規格 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzおよび / または60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取付設置説明書による 機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の 使用時間	換気時間 ^{a)}	
		台所	2410時間/年
		居室	2193時間/年
		トイレ	2614時間/年
		浴室	1671時間/年
注 ^{a)} 常時換気（24時間連続換気）のものは、8760時間/年とする。			

消耗品・交換部品・
後付パーツの
ご用命は

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用

<https://sumai.panasonic.jp/parts/>

【受付時間】月～金 / 9:00～18:00 土・日・祝日 / 9:00～17:00



ゴーゴー パーツ
0120-055-802

※携帯電話からもご利用になれます。

※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。

※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1224**



修理のご用命は

修理ご相談窓口 ※インターネットでの依頼も可能です。

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00 日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00



パナニイコ
0120-872-150

※携帯電話からもご利用になれます。

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1090**



商品の
お問い合わせは

住宅設備・建材商品ご相談窓口

<https://sumai.panasonic.jp/support/>

【受付時間】365日 / 9:00～18:00



個人のお客様 **0120-878-093**

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6780-5779**

法人のお客様 **0120-187-150**

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6904-7270**

※携帯電話からもご利用になれます。

●FAX… **0120-872-460**



Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

・ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

・本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検

長年で使用のサイドフードの点検を！



このような
症状はあり
ませんか

- ・スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しない。
- ・運転中に異常音がしたり振動がある。
- ・異臭がする。
- ・その他、異常を感じる。

ご使用
中止

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店または工事に点検・修理を依頼してください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Corporation 2016-2022

7HZP3R202DMD2-P0216-4092